



8月のある日、熱帯気候に属したと思ってしまう程蒸し暑い都内の道路を私は車に乗って走っていました。この日、普段運転中は聴かないラジオが

今日は、この夏の私の体験をお話しします。

皆さんおはようございます。

2学期始業式より

9月2日(月)



発行 江戸川区立 瑞江第二中学校 校長 滝澤 清豪 発行日9月3日 東京都江戸川区 瑞江4-54-1

番組をたまたま聴きながら運転をしていました。すると、私が聴いていたあるラジオ番組の進行役2人のパーソナリティたちの軽快な会話に私は知らず知らずのうちに引き込まれていました。

遙か昔の私の中学生時代は、ラジオの深夜放送が流行り、多くの中高生たちが夜中までラジオを聴いていました。翌日は眠い顔をして学校に登校したものです。教室に入ると友人たちと「お前今日のオールナイトニッポン聴いたか?」「いや、俺はセイヤング派だから!」「俺は聴いたぜ、笑っちゃったよ!」などの会話をよくしました。夜中の過激な話は、今の皆さんだとゲームになるのでしょうかね。

私は、たまたま車の運転中に聴いたラジオ番組が面白くて、聴き入ってしまいました。すると、いろいろなジャンルのス

ペシャリストが毎週講師として登場し、2人のパーソナリティやラジオを聴いているリスナーたちに、講師がスペシャル講義をするコーナーとなりました。その日の講師は日本SF作家クラブ会長の「池澤春菜」という人でした。その方は、作家、声優として活躍されている方でした。皆さんは、SF(サイエンス・フィクション)という言葉を知っていますか?科学的な空想に基づいたフィクションの総称で、SF小説、SF映画、SFアニメなどがあります。池澤春菜氏はSF作家として、「読んで面白い3つのSF小説」を紹介してくれました。ネタバレしない程度の簡単なストーリー解説と読みどころや作者の紹介などを絶妙な語り口で話してくれました。私は車を運転していることを忘れずらい(危ない!)、彼女の話し方に聞き入ってしまいました。私が最も気を引かれた作品は、

『プロジェクト・ヘイル・メアリー』(アンディ・ウィアー著)というSF小説でした。

「主人公グレースは中学校理科の先生。目を開けると宇宙を放浪する宇宙船の中。隣にはカプセルの中で横たわって息を引き取っている乗組員2名。グレースは自分が誰なのか、ここはどこなのか、何の目的でここにいるのかも全て記憶が消された状態だった。

自分のすべき事や今の状況が少しずつ分かっていき、たった一人で与えられたミッションを遂行していく。

人類史上初めて地球外生物に遭遇し、「コミュニケーションをとることに成功し、その生命体と共に難問に取り組み。

大きな最終ミッションをクリアできるのか。グレースの行き着く先はどこなのか。地球に戻ってくるのか、来ないのか。

あっと驚く衝撃の結末があなたを待っています。上下巻たっぷり読めるボリュームですが、ページをめくる手が止まりませ



早川書房

さあ、ここをランクリックするだけで、寝苦しい夏の夜も忘れ、広大な宇宙にあなたを誘います。」

この解説文は私の作文です。池澤春菜氏は、こんなことになりたかったとラジオで話してはいました。もっと、リスナーに想像をかき立てる口調で端的に話してしまえば、私は車の運転中なので、題名を覚えることで一生懸命でした。

『プロジェクト・ヘイル・メアリー』 『プロジェクト・エックス?』 『プロジェクト・クシオン?』

年齢には勝てませんでしたが、結局、「池澤春菜」という名前だけ覚えていて、後でネットで検索し

て『プロジェクト・ヘイル・メアリー』を探し当てました。(彼女の作品ではありませんが)

購入して結局4日間です。読み終えました。面白かったです。驚くべきことは、彼女の1分間にも満たないラジオでのプレゼンテーションで、私の購入欲が緊急増加?して電子書籍購入のクリックを速攻でオンしました。これもプレゼン力の賜物ですね。皆さんの得意なプレゼン。しかも、今回のプレゼンはラジオを通して、言葉だけ。物語の結末は言わない。それによってリスナーの想像力をかき立て膨らませることが存分に出来ているのでしょうかね。

読書は、文章を読んで自身の頭の中に描き、イ

メージする絵は人それぞれ異なります。ストーリーは著者が作りませんが、絵や映像として作るのには読み手自身です。著者と読み手が一緒になってその作品を作っていると言えるわけです。

偶然出会ったラジオのひとつコーナーから、見事なプレゼンテーションに出会い、読書に没頭し、自分の頭の中にこの作品の画像を自分自身で作るなんて、何と素晴らしい夏休みだったことでしょうか。皆さんはどんな出会いがありましたか?

因みに、この作品『プロジェクト・ヘイル・メアリー』は、映画化されると聞いています。そうなれば、映画監督が作る映像と自分が読んで頭に描いた映像がどのように異なるのか楽しみます。何だ監督は、そのシーンはずいぶん違うだろう。こっぴどいと言えよ。」などと言っているような自分が予想出来ず。以上で私の話を終わります。

今学期もよろしくお祈りします。 校長 滝澤清豪